

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉研究	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時間	後期	教室名	PC教室
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	看護師として病院に28年勤務した。研究経験は看護学校にて卒論、就職後も院内看護研究に取り組み、研究委員を務め、日本看護学会にも数回発表し、学会論文集に論文を掲載している。		

《授業科目における学習内容》

高齢者の楽しみ・活動の支援・介助について、グループ研究として取り組む。
知識を専門的に身につけ、論文を作成・発表することができる。

《成績評価の方法と基準》

グループ評価・・・研究計画書70%、出席20%、平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行

《授業外における学習方法》

日本介護福祉学会などの研究論文を読んで知見を深める

《履修に当たっての留意点》

介護研究とは、介護研究の必要性がわかる、取り組みが介護の質の向上につながり、利用者に還元するものであることがわかる

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	介護研究について、発表までの流れを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	オリエンテーションを聞き、研究の授業の流れを知り、この取り組みが卒業研究になることを説明できる		
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	研究とは 研究テーマの見つけ方を理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	なぜ研究を行うのか、介護研究とは、を説明できる		
第3回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索について理解出来る	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	文献とは何か、参考研究論文を探して自分の興味・関心は何かを説明できる		
第4回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の目的を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	参考研究論文を探して自分の興味・関心は何か探すことができるA4にまとめることができる		
第5回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の結果疑問が明らかになったのか理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	気になったテーマのわかったこと、分からないことをまとめ、発表することができる。この先行研究は何をどのように明らかにしたのか、まとめて発表することができる		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究仮グループで研究計画書「テーマ」について理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	テーマ別で仮グループを作り、仮テーマを決めることができる		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマで研究計画書を作ることを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマについて」文献検索することができる テーマ選び・文献検索 仮テーマを決めることができる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究動機、研究の背景を文献からまとめることを理解する 何が明らかになって、明らかになって異なることは何かを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「動機、背景」について説明することができる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選び・文献検索を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究の背景を文献からまとめることができ、何が明らかになって、明らかになって異なることは何か、そこから自分たちは何を明らかにしていくのか、研究の目的を考えることができる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「目的、倫理的配慮、仮説」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	目的、倫理的配慮、仮説を説明することができる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「方法、倫理的配慮」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	方法、倫理的配慮を説明できる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「倫理的配慮、仮説、研究の意義」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	倫理的配慮、仮説、研究の意義を説明できる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「仮説、方法」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	仮説、方法を説明できる		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 火2限	教室名	401
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(内実習指導者3年)介護福祉士			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の合格に向けての傾向と対策において、介護福祉士の知識・技術を確認する						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% 態度・ノート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士 過去問題集 模擬問題集(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
過去問題を解き、問題に慣れる						
《履修に当たっての留意点》						
各科目での授業ノート、レポート、テストの復習とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	人間の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (人間と尊厳と自立)				
第2回	授業を 通じての 到達目標	介護基本の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (介護の基本)①				
第3回	授業を 通じての 到達目標	介護基本の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (介護の基本)②				
第4回	授業を 通じての 到達目標	コミュニケーション技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (コミュニケーション技術)				
第5回	授業を 通じての 到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策(生活支援技術)①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(生活支援技術)②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(生活支援技術)③		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達と老化の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(発達と老化の理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(障害の理解)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(こころとからだのしくみ)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(こころとからだのしくみ)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(医療的ケア)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験総合問題を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(総合問題)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験総合問題を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(総合問題)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の問題傾向を掴めることができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	ここまでの試験		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 木1限	教室名	pc視聴覚室
担 当 教 員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>コンピューター自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピューターネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2010						
《授業外における学習方法》						
自宅にあるPCを使つての復習等。						
《履修に当たつての留意点》						
MicrosoftOfficeの基本的な操作方法を覚える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	MicrosoftOfficeとは何か。を理解する		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定	ワード、エクセル、パワーポイントの紹介。簡単な操作方法				
第2回	授業を通じての到達目標	文書作成ソフトを使って基本的な文書作成ができる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定	タイピング練習。ワードの基礎的な操作方法を覚える				
第3回	授業を通じての到達目標	ビジネス文書を作成できる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定	文書作成、書式設定の方法を覚える				
第4回	授業を通じての到達目標	グラフィック機能を利用し、表現豊かな文書を作成できる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定	文書内に写真・イラストを挿入する方法を覚える				
第5回	授業を通じての到達目標	ワードでの表の作成や編集ができる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定	文書内での表の挿入の仕方、編集の仕方を覚える				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	エクセルの基本操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	エクセルの画面構成、操作方法を覚える		
第7回	授業を通じての到達目標	四則演算、関数、絶対参照といった計算機能を使う事ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	エクセルでの表作成、関数を使った計算の方法を覚える		
第8回	授業を通じての到達目標	グラフの作成方法を理解し、活用できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	作成した表から、適切なグラフを選び挿入することができるようになる		
第9回	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し、活用できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	膨大な表から必要な情報を抽出し、抜き出すことができるようになる		
第10回	授業を通じての到達目標	エクセル・ワード まとめ練習問題 等	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	ワード・エクセルでの操作のまとめ問題集		
第11回	授業を通じての到達目標	PowerPointの基本操作ができる グラフィック機能を活用し、表現力豊かなスライドが作成できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	PowerPointを使ったスライドの作り方、基本的な操作方法を覚える		
第12回	授業を通じての到達目標	特殊効果を設定し、魅せるスライドの作り方を練習する	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	ページの切り替え設定を利用し、見た目を重視したスライドを作成		
第13回	授業を通じての到達目標	スライド作成ができる(課題作成)	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	与えられた課題について、自身で調べながらスライドを作成		
第14回	授業を通じての到達目標	与えられた課題に沿ってスライド作成、完成まで	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	課題作成、プレゼンテーション発表		
第15回	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeでの操作方法を理解し、実践で使うことができるようになる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	まとめと試験		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	情報科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 金曜1限	教室名	pc視聴覚室
担 当 教 員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
コンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2010						
《授業外における学習方法》						
自宅にあるPCを使つての復習等。						
《履修に当たつての留意点》						
MicrosoftOfficeの基本的な操作方法を覚える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワードの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	既存の文書内容を変更できるようになる			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	複雑な書式の文書が作成できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	段組みを利用した複雑な文書作成			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	写真や画像の編集ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	画像のトリミング、コントラスト変更、回転やアート効果など			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	インターネットからの情報収集の仕方。写真などの保存ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	素材提供サイトから画像素材の保存方法、文書への挿入方法など			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ヘッダー・フッターの挿入、編集ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	ヘッダー・フッターの挿入、編集の仕方を覚える			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	エクセルの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	応用的な関数。四捨五入、切り上げ、切り捨てなどを覚える		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実用的な関数を使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	日付の計算。条件で判断する関数を覚える		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的な書式を設定できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	条件付き書式、入力規則の設定、コメントの挿入の仕方を覚える		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スマートアートを使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スマートアートや図形を使って鮮やかなブックの作成方法を覚える		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワード、エクセルのまとめ練習問題	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	エクセル・ワードでのまとめ。練習問題など		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スライドに必要な素材を収集方法を覚える		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	スライドに動画や音楽を挿入できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	事前に用意した動画、ビデオ、音楽を組み込んだスライド作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的なアニメーションを使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	図形や画像にアニメーションを設定し、自由に動かすことができる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション作成	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	課題にそった情報収集とスライドの作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeへの理解をさらに深め、使いこなすことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術Ⅱ(点字)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 金3限	教室名	401
担 当 教 員	井戸 美智夫	実務経験とその関連資格	美作大学にてコミュニケーション技術(点字)を講義。自営で接骨院開業。			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害の特性に応じた介護に関する知識や技術を理解し、コミュニケーション手段として点字、福祉用具を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
点訳の広場 (岡山県赤十字点訳奉仕団) 生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
福祉用具を障害者に合わせて用途があることを、見学していく						
《履修に当たっての留意点》						
生活支援技術Ⅱを授業前に学習とする						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害について医学的・心理的側面から理解することのできるようになる	生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察の視点を学び、理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援の方法を学び、理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者の介護③			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が果たすべき役割を理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく	
		各コマにおける授業予定	事例で学ぶ			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉機器について知り使用方法を理解することができるようになる	生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく	
		各コマにおける授業予定	福祉機器について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の特徴について学び、理解できるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字① 点字の歴史について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解できるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字② 50音について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字③ 濁音について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字④特殊音について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑤促音について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記について理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑥数字の書き方について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点字仮名遣いについて理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑦かな使いについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点分かち書きについて理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑧ますあけについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・数字、記号について理解することができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	点字⑨ 符号について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字と視覚障害についての理解度の確認ができる	点訳の広場	教科書の指定部分や、関連する科目について学習しておく
		各コマにおける授業予定	全体のまとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	402教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許・実習指導者講習修了・介護教員研修修了			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を身に付ける。介護を必要とする人の生活を支援するという観点から、フォーマルおよびインフォーマルな支援、地域連携について学ぶ。また、介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」 配布資料						
《授業外における学習方法》						
教科書の指定部分を読んでおくこと。予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護の基本Ⅰ・介護の基本Ⅱが同時に進むので、内容をしっかり整理しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の基本Ⅰ・Ⅱの概要を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」		教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・オリエンテーション ・介護福祉を必要とする人の理解「生活とは何か」			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	私たちの生活について考える事ができる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」		教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・生活にとって大切な要素 ・生活の特性(G・W)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしについて理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」		教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する 事例①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしについて理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」		教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する 事例②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみが理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」		教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・高齢者の生活を支えるフォーマルサービス ・障害者の生活を支えるフォーマルサービス			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみが理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点の理解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域連携の意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・地域連携の意義と目的 ・地域福祉にかかわる組織、団体		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者を取り巻く地域連携の実際について理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・地域連携の実際について、調べ学習をする。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保について学ぶことができる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・セーフティマネジメントの考え方 ・安全の確保を組織全体で取り組む重要性を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保について学ぶことができる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・安全な暮らしの支援が、利用者の尊厳の保持に結びつくことの重要性を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントについて理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・ルールや約束を守ることの重要性について学ぶ(G・Wと発表)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントについて理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・福祉サービスに求められる安心や安全について学ぶ ・事故防止、予防のための対策について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントについて理解できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・身体拘束がもたらす多くの弊害(動画視聴、G・W)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントの組織体制について学習する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・生活の場の安全管理		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容の理解度が確認できる	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・復習と総まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護の基本Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期 金曜3限目	教室名	402教室
担 当 教 員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士			
《授業科目における学習内容》						
介護予防が必要になった背景や介護予防に関する基礎知識といった運動指導に必要な技術や理論を学習するとともに、科学的介護やエビデンスの活用という視点があることを知る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70% 平常点10% 出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護予防運動トレーナー養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。						
《履修に当たっての留意点》						
介護予防トレーナーの資格取得のために必要な科目ですが、地域ケアの視点から介護を要する方、介護が必要になる可能性のある方に運動指導を求められる場面が増えてきています。適切な運動指導を安全に実施できるよう現場に出ていることを想定しながら学習しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防の背景やあり方、地域ケアシステムについて理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防運動トレーナーの立ち位置、介護予防概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化や高齢者の身体的特徴について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防概論			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの定義・必要性・効果について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの指導・種類について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢化の現状と介護予防・日常生活支援総合事業について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防ケアマネジメント、介護リスクマネジメントの基本的な考え方について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の概念、原因、主な症状について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症症状への基本的な対応と予防について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿失禁をめぐる問題、尿失禁の種類や対策、排泄に必要な動作と対処方法について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	失禁予防理論		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒の定義、発生状況、要因について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒予防プログラムの作成方法と運動時のリスクマネジメントについて理解する事ができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	予防に資する食の問題点、運動と食事の関係性について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	低栄養予防理論		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動の基本的な考え方や行動の法則,セルフエフェカシーについて理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	行動科学理論		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立、臥床時の身体負担と予防のためのポジショニング、シーティングについて理解することができる。	配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護予防と自立における基本的な介護の考え方		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学的介護、エビデンスの活用について知ることができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト 配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護実践、運動指導時のエビデンス活用と科学的介護		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 実習日	教室名	実習施設
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭2種免許状・実習指導者講習修了・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設において実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技点70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護記録の書き方(メヂカルフレンド社) 介護総合演習8 (メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」 実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けれるようにする。	
	各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護				
第2回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」 実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けれるようにする。	
	各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護				
第3回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」 実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けれるようにする。	
	各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護				
第4回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」 実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けれるようにする。	
	各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護				
第5回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」 実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けれるようにする。	
	各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」実習と記録	教科書の指定部分を読んでおく。他科目と関連付けられるようにする。
		各コマにおける授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期 木曜1限	教室名	402教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭二種免許状・実習指導者講習修了・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
介護実践に必要な知識や技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題・実習日誌 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 滋慶出版「実習と記録」						
《授業外における学習方法》						
教科書、また配布プリントを事前に読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実践(介護実習)にあたって知識・技術の統合を行う科目でもあります。積極的に参加し、復習・予習をするように。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成教育全体のなかで、「介護総合演習」がどのような位置づけになっているか理解できる	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・介護福祉士養成教育の全体像			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護総合演習の目的が理解できる	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・介護実習の指導 ・他科目での学びの統合化 ・多職種連携の意味と重要性の意識化			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の意義と目的が理解できる	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・介護実習にのぞむにあたり、目標をもつことの大切さを理解する ・個別ケアの視点 ・介護実習のおもな流れ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習とボランティア実習(見学実習)の違いについて理解する	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・ボランティア実習、見学実習について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成カリキュラムと介護実習Ⅰ・Ⅱの枠組みが理解できる	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・実習Ⅰ、実習Ⅱの枠組み			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習前の学びと、実習後の学びのいかし方を理解する	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	想像力・創造力の必要性と、それらを養う方法を理解する ・他科目で学んだことを介護実習のなかでどのように結びつけ、いかしていくのか		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴、実習先での学び	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・訪問介護 ・通所介護 ・通所リハビリテーション		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習準備、見学実習準備	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・実習の目標、記録の書き方、個人票を作成する(下書き)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習準備	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・実習の目標、記録の書き方、個人票を作成する(清書)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア実習(見学実習)のまとめができる	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・記録のまとめと実習準備に向けて		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習準備	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・実習事前オリエンテーション準備		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習準備	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・事前オリエンテーションの記録をまとめる		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習中にのぞむ態度や姿勢について理解する	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・実習中の学習内容		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習準備	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・記録の書き方練習、マナーや服装について確認		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習後の学習の意義と目的を理解する	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」「実習と記録」	教科書の指定部分を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・実習後の学習内容について		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	健康科学講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	401教室
担 当 教 員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士			
《授業科目における学習内容》						
健康増進、スポーツ実践に資する基本的な運動やトレーニングとそれに関連する筋、骨格系、生理学等を学習する。 パラスポーツやニュースポーツを調査し、体験することで理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1.定期試験:70% 2.出席点:20% 3.平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
やさしいスポーツ医科学の基礎知識(嵯峨野書院)						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。						
《履修に当たっての留意点》						
適切な介護、介護予防におけるかかわりは基本的に生理学、身体構造、スポーツ障害などの知識が必要とされる。これを基本として現場で活用できるよう学習することができるよう心掛ける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動に必要な身体の仕組みやスポーツ活動の効果と意義、楽しむことについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ医科学概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動と筋肉、運動と神経について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ生理学①(筋肉、神経)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動と呼吸、運動と神経について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ生理学②(呼吸、神経)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動と骨について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ生理学③(骨)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱中症やスポーツ中の心停止などの急性傷害について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ医科学①(内科系障害①)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	オーバートレーニングなどの状態について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ医科学(内科系障害②)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢、下肢の主な外傷・障害について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ医科学(外科的障害①)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部・体幹の主な外傷・障害について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ医科学(外科的障害②)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素と栄養障害について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを調べて、ルール of 伝達、体験することができる	配布プリント 該当のパラスポーツ物品	パラスポーツやニュースポーツについて調べ、競技やそのルールについて伝達できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの調査発表、体験(競技は前授業内で決定する)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを調べて、ルール of 伝達、体験することができる	配布プリント 該当のパラスポーツ物品	パラスポーツやニュースポーツについて調べ、競技やそのルールについて伝達できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの調査発表、体験(競技は前授業内で決定する)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを調べて、ルール of 伝達、体験することができる	配布プリント 該当のパラスポーツ物品	パラスポーツやニュースポーツについて調べ、競技やそのルールについて伝達できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの調査発表、体験(競技は前授業内で決定する)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを調べて、ルール of 伝達、体験することができる	配布プリント 該当のパラスポーツ物品	パラスポーツやニュースポーツについて調べ、競技やそのルールについて伝達できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの調査発表、体験(競技は前授業内で決定する)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動する、参加することが生活や身体機能に及ぼす影響を理解することができる	配布プリント	配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	活動と参加の重要性		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	社会の理解	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	一年生	学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士/障害児施設にて勤務		

《授業科目における学習内容》

本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。前半の学期(2021年後期)では、次の3点について学ぶ。

- ①人間の生活と社会との関わり、自助・互助・共助・公助の関係について理解する。
- ②利用者の生活を地域で支えるために、地域共生社会の考え方や地域包括ケアシステムの仕組みと、実現するための方法や施策を理解する。
- ③社会保障制度の基本的な考え方や仕組みを理解する。そのうえで、日本における社会保障の現状と課題をとらえていく。

《成績評価の方法と基準》

- ①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。

《授業外における学習方法》

社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	人間の生活を幅広くとらえる	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	人間と社会を多面的に捉える視点について理解する。センの潜在能力について、フランクルの3つの価値について学び、利用者の生活を理解することにつなげる		
第2回	授業を通じての到達目標	生活の基本機能とは何か ライフスタイルの変化	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	多様な生活の捉え方があることを理解する。 家族機能の変化、生活と働き方の変化について理解する。 日本の少子高齢化における課題を理解する。		
第3回	授業を通じての到達目標	家族の機能と役割について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	家族の定義、家族と世帯の変容、家族の多様な機能を理解する。		
第4回	授業を通じての到達目標	社会と組織の機能と役割、地域と地域社会、地域社会における生活支援について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会と組織の概念を学び、機能と役割を理解する。地域の生活の継続において自助、互助、共助、公助の重要性を理解。福祉ミックスの考え方、ソーシャル・サポート・ネットワークについて理解する。		
第5回	授業を通じての到達目標	「社会と生活のしくみ」のまとめ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第一章のまとめと演習		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	地域福祉の発展について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域福祉の成り立ちと取り組みについて理解する。社会福祉協議会について、地域福祉計画について理解する。災害時の地域社会での対応について、事例を通して考える。		
第7回	授業を通じての到達目標	地域共生社会とは	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域共生社会と少子高齢化、人口減少問題との関係を理解する。社会的排除ではなく社会的包摂をめざし、多文化共生社会を目指すという理念を理解する。実現に向けた取り組みを学ぶ。		
第8回	授業を通じての到達目標	地域包括ケアとは	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアという考え方が出てきた背景とその理念を理解。地域包括ケアシステムにおいて、介護福祉士として、どのような活動が期待されているか理解する。		
第9回	授業を通じての到達目標	「地域共生社会の実現に向けた制度や施策」のまとめ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第二章のまとめと演習		
第10回	授業を通じての到達目標	社会保障の基本的な考え方について	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	私たちの生活と社会保障制度の関係、その必要性を理解。制度や種類を知る。目的と機能を学ぶ		
第11回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度の発達	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度の発達について学ぶ。社会経済状況と社会保障制度の関係を理解。社会保障改革の方向性を知る。		
第12回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度のしくみ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	給付と負担について学ぶ。社会保障制度の種類について体系的に学ぶ。それぞれの社会保障制度の概要を学ぶ。		
第13回	授業を通じての到達目標	現代社会と社会保障制度	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	少子高齢化によって社会保障制度がどのような影響をうけるか。日本の財政問題と社会保障について学び、給付と負担の関係の理解を深め、持続可能な社会保障制度について考える。		
第14回	授業を通じての到達目標	「社会保障制度」のまとめ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第三章のまとめと演習		
第15回	授業を通じての到達目標	社会の理解Iのまとめ	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会の理解Iの復習と演習		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術 I (講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭二種・介護実習指導者講習修了・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠にもとづいた介護実践を行うための知識・技術を学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」 配布プリント</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>生活支援技術 I・IIの教科書を基本に予習・復習を行う。演習との関連もあるので併せて確認しておく。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援の基本的な考え方が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援について理解する 生活の豊かさや心身の活性化のための支援について理解する 			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援と介護過程の関連について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ICFの視点をもって利用者の全体像、個別性を知ることの大切さを理解する 			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援におけるチームアプローチの重要性について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> チームアプローチにかかわる職種とその役割、連携の方法について ライフステージごとにケアチームやチームアプローチは異なることを理解する 			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいの役割と機能について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 家族・人と生活空間のかかわりについて理解し、住要求の変化に対応する住まいが求められていることを理解する 			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活環境と室内環境について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術 I」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 室内気候の調整 明るさの調整 音環境の調整 			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全に暮らすための生活環境について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅内事故の現状 ・災害に対する備え 		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障害者の住まいをめぐる現状について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の住まい ・障害者の住まい ・地域と住まい 		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	居住環境の整備における多職種との連携について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・居住環境整備にかかわる職種とその役割について学ぶ ・事例からチームケアのあり方を具体的に学ぶ 		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年 金曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	山西 辰子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について修得する学習とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 70% 2. レポート20% 3.グループワーク中の態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規 最新 介護福祉全書「生活支援技術Ⅱ」 メヂカルフレンド社</p>						
《授業外における学習方法》						
教科書・参考書・動画等を中心に動きの確認をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習(実践)を行うための知識・技術を習得する重要科目である。講義内容と併せて演習していく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生活支援技術Ⅱの授業概要を理解できる 自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習	
		各コマにおける授業予定	ARマークの活用方法 自立に向けた身じたくの介護			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習	
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「洗顔」			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習	
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「整髪・ひげの手入れ」			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習	
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「爪の手入れ・耳の清潔」			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習	
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「口腔ケア」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「口腔ケア」		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	これまでの振り返り 自立に向けた身じたくの介護「衣服着脱」		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立した身じたくの介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護「衣服着脱」		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた食事の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護「食卓で行う食事の介助」		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた食事の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護「ベッド上で行う食事の介助」		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠環境を整える方法(ベットメイキング等)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠環境を整える方法(ベットメイキング等)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動・移乗の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立を支える移動・移乗の介護技術		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動・移乗の介護について理解できる	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語(漢字の読み)学習
		各コマにおける授業予定	自立を支える移動・移乗の介護技術		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業の振り返り	最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術Ⅱ」	本読み学習 専門用語学習 動作の確認
		各コマにおける授業予定	まとめと試験		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	地域特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・保育士・幼稚園教諭二種免許状・実習指導者講習修了・介護教員講習会修了			
《授業科目における学習内容》						
地域包括支援を担う介護福祉分野の領域や、視点について理解を深めるために、社会資源の理解や企画運営を通して、マネジメントの基礎を学ぶ。地域の介護施設にて見学実習を行い、地域で暮らす利用者像について把握する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート・参加度 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
実習と記録						
《授業外における学習方法》						
教科書の指定部分や、配布資料を参考に課題に取り組む。						
《履修に当たっての留意点》						
見学実習(学外実習)での目的・目標を明確にし、積極的に取り組むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く	
		各コマにおける授業予定	見学実習の目的と目標について「実習の心構え」			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く	
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く	
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く	
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く	
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	「特別養護老人ホーム やすらぎ荘」にて見学実習を行う	実習と記録 介護総合演習	毎日日誌を書く
		各コマにおける授業予定	4日間の見学実習 「実習を終えて」と日誌の清書をする		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	認知症の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水曜3限	教室名	401
担 当 教 員	杉井 将俊	実務経験と その関連資格	社会福祉士、第一種衛生管理者、サービス管理責任者			
《授業科目における学習内容》						
認知症に関する基礎知識を習得し、その特性や対応等を理解する。 認知症の方を取り巻く環境の把握を含め、介護福祉士として行う支援について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 70% 2. 出席状況 20% 3. 授業態度 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座 「認知症の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉士養成講座 「障害の理解」(中央法規出版)						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問してください。 講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待しています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	今後の授業の展開を理解し、認知症について現状での学習状況を整理できる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、認知症とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の全体像を捉えることができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	認知症の基本的理解について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の仕組みについて、心身状態と合わせて理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脳の構造と認知症について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の方の心理を理解し、精神的な支援について考えることができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	認知症の方の心理(抱く感情や思い等)と家族の心理について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	認知症の中核症状について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症による生活上の困りごとを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の方の生活上の障害について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症のBPSDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の診断と用いられる診断基準等を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の診断基準と重症度について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因と関連疾患を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の原因となる疾患と現れる症状について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症と類似疾患、障害を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症に類似した症状や関連する身体障害について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の治療の現在を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の治療とその効果について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症予防とその考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症予防の具体的内容と取り組みについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の方を取り巻く環境を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	過去から現在の認知症の方とその周囲の環境について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の方の支援から関わりの考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	総括講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、認知症の基礎的理解ができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	試験対策		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火曜2限	教室名	401
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規)
参考書:からだのしくみ事典(成美堂出版)

《授業外における学習方法》

授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく

《履修に当たっての留意点》

精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみについて必要性を理解できる こころのしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	こころとからだのしくみの講義オリエンテーション こころのしくみ、健康とは何か、マズローの基本的欲求について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころのしくみについて、マズローの欲求段階説、 学習とは、記憶とはを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	こころのしくみ、人間の基本的欲求について、 介護現場でどう生かすことができるのか、学習とは、条件付けと観察学習について、短期記憶、長期記憶について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころのしくみ、意欲と動機付け、代表的な適応機制について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	適応のしくみ、適応障害、適応機制、ライチャードによる高齢者の人格の分類について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の根拠となる人体の構造や機能について 人体の骨格、身体各部、筋肉の名称について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	人体の骨格の名称、身体各部の名称、筋肉の名称について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体各部の役割を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	細胞のはたらき、遺伝、脳と神経、自律神経の働きについて		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、外皮の各部の名称と役割について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器、呼吸のしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔、歯、唾液、咽頭、喉頭、声帯、肺、気管支各部の名称と役割について 呼吸のしくみについて 人体各部の名称テスト		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて 血管、血液のしくみについて		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	リンパ・免疫・アレルギーについて解剖や生理的機能を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	リンパ・免疫・アレルギーについて 生体防御システム、ワクチンのしくみについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器官について構造や働きを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔より肛門までの消化器について構造や働きについて		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化腺について(肝臓脾臓膵臓)の解剖や生理的機能を理解することができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	肝臓、胆嚢、脾臓、膵臓の構造、はたらきについて 各部の消化腺やホルモンのはたらき、糖尿病について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能および生殖器についての解剖や生理的機能、内分泌について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能について 生殖器についての解剖や生理的機能について 内分泌ホルモンについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理的作用、骨格、筋肉の名称、はたらき、関節との関係について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	骨の役割、筋肉との関係、内臓筋のはたらき、関節の動き、可動域について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の維持と恒常性のしくみについて理解できる 介護福祉職に必要な薬の知識	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ホメオスタシスとは バイタルサインとは 高齢者によく使われる薬、高齢者に薬の副作用が多い理由、注意が必要な薬について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援のために必要な、人間のこころのしくみやからだの解剖生理的機能、メカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころからだのしくみ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期講義の振り返り		

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時間	後期	教室名	402
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。		

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 医行為とはどういうことか、その法的理解などについて理解する介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは 医行為とは(法的な理解)について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 チーム医療、医療の倫理について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標 個人の尊厳と自律について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちの理解について		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標 喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標 医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方や 枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の 実際、AEDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、 知識と手順について、手洗いの演習実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋や ガウン等の使用の必要性、標準予防策について、タダシマスクやエプロ ンのつけ方の実施		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処 理について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理の実施演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目(バイタルサイン)、体温、脈拍、呼 吸、血圧について、測定の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について理解する	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備(報告、連絡文、応急手当、記 録)について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	医療的ケア メディカルフレン ド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉研究	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	PC教室
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	看護師として病院に28年勤務した。研究経験は看護学校にて卒論、就職後も院内看護研究に取り組み、研究委員を務め、日本看護学会にも数回発表し、学会論文集に論文を掲載している。		

《授業科目における学習内容》

高齢者の楽しみ・活動の支援・介助について、グループ研究として取り組む。
知識を専門的に身につけ、論文を作成・発表することができる。

《成績評価の方法と基準》

グループ評価・・・研究計画書70%、出席20%、平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行

《授業外における学習方法》

日本介護福祉学会などの研究論文を読んで知見を深める

《履修に当たっての留意点》

介護研究とは、介護研究の必要性がわかる、取り組みが介護の質の向上につながり、利用者に還元するものであることがわかる

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	介護研究について、発表までの流れを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	オリエンテーションを聞き、研究の授業の流れを知り、この取り組みが卒業研究になることを説明できる		
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	研究とは 研究テーマの見つけ方を理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	なぜ研究を行うのか、介護研究とは、を説明できる		
第3回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索について理解出来る	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	文献とは何か、参考研究論文を探して自分の興味・関心は何かを説明できる		
第4回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の目的を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	参考研究論文を探して自分の興味・関心は何か探すことができるA4にまとめることができる		
第5回	演習形式 授業を通じての到達目標	文献検索の結果疑問が明らかになったのか理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	気になったテーマのわかったこと、分からないことをまとめ、発表することができる。この先行研究は何をどのように明らかにしたのか、まとめて発表することができる		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究仮グループで研究計画書「テーマ」について理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	テーマ別で仮グループを作り、仮テーマを決めることができる		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマで研究計画書を作ることを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマについて」文献検索することができる テーマ選び・文献検索 仮テーマを決めることができる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究動機、研究の背景を文献からまとめることを理解する 何が明らかになって、明らかになって異なることは何かを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「動機、背景」について説明することができる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選び・文献検索を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究の背景を文献からまとめることができ、何が明らかになって、明らかになって異なることは何か、そこから自分たちは何を明らかにしていくのか、研究の目的を考えることができる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「目的、倫理的配慮、仮説」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	目的、倫理的配慮、仮説を説明することができる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「方法、倫理的配慮」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	方法、倫理的配慮を説明できる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「倫理的配慮、仮説、研究の意義」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	倫理的配慮、仮説、研究の意義を説明できる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「仮説、方法」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	仮説、方法を説明できる		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	第1学年		学期及び曜時限	通年 水曜日	教室名	401
担 当 教 員	松下 修	実務経験と その関連資格	指導歴11年、第1種英語教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
福祉現場でなされる会話の練習を通じて、現場特有の英語表現や専門用語を学ぶ 施設の特徴、支援内容についての英文を読み、語彙力、読解力を身につけていく 英語福祉検定受験に必要な語彙力、聴解力、読解力を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) + 出席(20%) + 提出物等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH(NPO法人医療福祉英語検定協会) 副教材:LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH 福祉英語専門用語集、福祉英語検定試験問題						
《授業外における学習方法》						
新出単語の予習、課題						
《履修に当たっての留意点》						
配布されたプリント類はファイリングして、学期ごとに自己評価シートを記入の提出のこと 本講義用にノートを1冊用意すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	英語の必要性及び異文化理解のために必要な態度について理解できる	教科書 副教材	新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、異文化接触における自身の考え方や態度について考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	英語の発音記号をもとに発音ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	英語の母音、子音について発音記号について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	初対面の利用者と会って自己紹介をし、施設の案内ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	Meeting a Client at a Facility 1 あいさつ、自己紹介の表現、施設を案内する表現			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	備え付けの器具や備品の使い方の説明ができる 場所を尋ねたり、説明することができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	Meeting a Client at a Facility 2 あいさつ、自己紹介の表現、施設を案内する表現			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	入所者に食事時間について説明し、好き嫌いについて尋ねることができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマにおける授業予定	Explaining Meals Schedule and Identifying Food Preferences 食事時間の表現、好き嫌いの尋ねる、時間の表現			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	入所者に食事についての提案ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Meal Assistance 食欲がない方への提案の表現、食事介助		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	職員、入所者の家族に入所者の行動の報告ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	At a Childcare Facility 「～していました」の表現		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温と脈拍を測定し、その測定結果を伝えることができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Daily Routine 1:How to Take Your Client's Temperature and Pulse 体温や脈拍を計測するときに必要な表現		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧の測定後の結果を伝える 大きな数字が言える	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Daily Routine 2:How to Take Your Client's Blood Pressure 血圧測定時に必要な表現 10の位、100の位の数字の言い方		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻痺のある入所者が自力で起き上がるための手順が説明できる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Explaining the Process of Sitting Up by Yourself 提案、勧誘の表現 "Why don't we ~?"		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ベッドから車椅子への移動する時の説明ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	From Bed to Wheelchair 「～する方法、やり方」"how to～"の表現		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	入所者からの依頼に応じたり、依頼をすることができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Meeting a Client's Request: A Hair Wash 依頼の表現とそれに応じる表現		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	足浴やマッサージを受ける入所者に対して適切に応答できる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	How to give a footbath and Massage 「私に知らせてください」"Let me know～"の表現		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の情報共有のための状況報告ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Weekly Meeting of Social Workers 「～について心配しています」"I'm concerned about～"		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの学習項目における理解度、到達度を自分で確認し、後期への学習に活かすことができる	教科書 副教材	
		各コマにおける授業予定	前期試験とまとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年 火4限	教室名	401教室
担 当 教 員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介</p>						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
<p>講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害について、現時点での自身の捉え方、考え方を持つことができる。	教科書		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、障害(者児)とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別について自分の考えを発言できることに加え、定義、内容を理解する。	教科書	障害種別の把握	
		各コマにおける授業予定	障害種別、定義について考え、共有する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国内外における障害の概念や捉え方を理解し、変遷について説明できる。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べる	
		各コマにおける授業予定	障害の概念と理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法整備の変遷、現行法令の概要が理解できる	教科書、 障害福祉サービ スの利用につい て (冊子)	現行法令の把握	
		各コマにおける授業予定	障害に関する法的理解と変遷			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別ごとに有効なコミュニケーション方法の概要が理解できる。	教科書、 障害福祉サービ スの利用につい て (冊子)	障害種別ごとの特性把握	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた関わり方の概要			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害の特性や等級、状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について①(基本的理解)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について②(実態と支援)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について①(基本的理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について②(実態と支援)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について①(基本的理解)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について②(実態と支援)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の特性、障害福祉における難病について理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	難病及び高次脳機能障害について(基本的理解から実態と支援)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児が利用できるサービスや関連する支援の概要を説明できる。	教科書	障害福祉サービスの概要把握
		各コマにおける授業予定	障害者児支援と障害福祉サービスの概要		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	バリアフリー等の環境整備の重要性を理解し、有効性の説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた生活環境の概要		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人間と尊厳と自立		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月1限	教室名	401
担 当 教 員	腰前彰徳	実務経験と その関連資格	社会福祉士として、知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
1年の前期であり、学生自体も自分の自立を意識していない状況にあるため、まず自己覚知から他者を知ることに意識した授業を行っていく。グループワークを通して、他者理解を深め考察していく展開とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成講座人間の理解1中央法規出版 参考図書:人間の理解(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
教科書の演習の予習・復習(授業で範囲指定)						
《履修に当たっての留意点》						
演習時の学習態度・意欲						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳を福祉のもつ意義から考えることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	人間の尊厳について個々で考えてみる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 授業内容について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が人間の幸せに深く関わっていることを理解できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人間の尊厳と自立 人間を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士としての倫理観を学び、個人の尊厳、基本的人権について基礎知識を身につけることができるようになる	参考:メヂカルフレンド社 プリント配布p8~16	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	社会福祉を考える 人権思想から尊厳を考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法律からの尊厳を知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	障害者基本法 介護保険について			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉領域での人権、福祉理念を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人権・福祉理念の変換について			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 人権思想がどのような経緯で誕生したか理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	戦後の新たな福祉のあり方について考える p50の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 人間の尊厳、人権、権利擁護を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	人権尊重と権利擁護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 人間の尊厳と自立が生活支援においてどのように活かされているか学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	生活を通して人間の尊厳と自立・自律を考える		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 事例を通して尊厳と自立を考える、他者の理解を深めることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	振り返り 演習(p77～78)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 介護を必要とする人々の自立支援の理解をすることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	介護における自立支援		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 尊厳を持って介護を必要とする人への関わり方を学べ介護福祉士の役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	介護の尊厳について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 介護における自立支援を学び又国際生活機能分類の特徴を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	自立支援とICF		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 介護場面において尊厳の保持がどう行われているか事例から学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	介護における尊厳の保持		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 利用者の生活理解をし、支援することが、生きる意欲につながることを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	事例を通して自己決定について考える		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 尊厳と自立を社会福祉を通し、理解できたか確認することができる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
	各コマにおける授業予定	振り返りとまとめ、試験対策をする		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人間関係とコミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 月2限	教室名	401
担 当 教 員	腰前彰徳	実務経験と その関連資格	社会福祉士として知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導員			
《授業科目における学習内容》						
対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得、チームで働くための能力を養う学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座1 人間の理解(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
コミュニケーション技術の科目 前期にあり 復習する						
《履修に当たっての留意点》						
実習で施設の介護業務を参考として、授業に臨む						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の進化を学び人の発達について理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	人間関らしさのはじまり			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間形成に必要な自己知覚、自己開示について学び、自己知覚を理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	ジョハリの窓について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の段階的な発達から人間関係の広がりについて理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	パーソナリティについて			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人認知について理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	他者とのかかわり～対人認知の傾向			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	人は他者や集団とかかわりながら成長するのかを学理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	他者と集団			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 ストレス反応について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 人間関係とストレス 演習2-1 演習2-2		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 コミュニケーションの特性・構造について学び、理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 コミュニケーションの概念と基本構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 言語・非言語的コミュニケーションについて学び、身につけることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 コミュニケーションの手段①		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 言語・非言語的コミュニケーションについて学び、身につけることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 コミュニケーションの手段② 演習2-3 2-4		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 援助者としてのコミュニケーションの基礎を学び、現場で活かせることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 対人援助関係とコミュニケーション		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 組織においてどのようなコミュニケーションが求められるていくのかを知り理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 組織におけるコミュニケーション		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 介護実践におけるチームマネジメントの基本となる考え方を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 介護実践におけるチームマネジメント 演習3-2		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 チームでケアを展開するために必要な取り組みについて学び、理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 ケアを展開するためのチームマネジメント		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 質の高い介護サービスは組織に支えられていることを理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 チームマネジメントについて～人材育成・組織		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 振り返り	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定 試験対策 傾向を知る		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達と老化の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 水1限目	教室名	402
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
人間の成長と発達のプロセスにおける、身体的・心理的・社会変化および老化が生活に及ぼす影響について理解しライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上における基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキヤモンの発達曲線を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の成長と発達の基礎的知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達理論と発達課題を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的機能の成長と発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の定義と老化を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達課題を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期をめぐる今日的課題を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学・各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室
担 当 教 員	松澤 伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復専科教員免許			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復理論編の上肢下肢の軟部損傷について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 柔道整復学・実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 解剖学改訂第2版 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
次回の授業範囲の本読みをする。授業の復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認、内容の理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学の筋骨格系を理解しておくこと						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認	
		各コマにおける授業予定	膝周囲の機能解剖、損傷について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認	
		各コマにおける授業予定	膝周囲の機能解剖、損傷について学ぶ。小テスト			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部の軟部組織損傷、末梢神経障害について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認	
		各コマにおける授業予定	前腕部の神経の走行と理解するとともに、損傷について学ぶ、小テスト			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部の軟部組織損傷、末梢神経障害について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認	
		各コマにおける授業予定	前腕部の神経の走行と理解するとともに、損傷について学ぶ、小テスト			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	足部の機能解剖、損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認	
		各コマにおける授業予定	足関節部の軟部組織損傷について学ぶ。足関節捻挫			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	足部の機能解剖、損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫の類症鑑別、注意すべき疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	足根部の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	横足根関節損傷、足根中足損傷		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	足根部の軟部組織損傷について理解する、足・足趾の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	扁平足障害、中足部から後足部の有痛性疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	足・足趾の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	前足部の有痛性疾患		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	足・足趾の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	注意すべき疾患		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	TFCC損傷、ドケルバン病 小テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	手根管症候群、ギヨン管症候群		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の軟部組織損傷について理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	キーンバック病、マーデルング変形		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	苦手なポイント等理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	まとめ、小テスト小テスト		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	苦手なポイント等理解する	柔道整復師学理論編改定版6版 解剖学改訂第2版	次回の授業範囲の本読みをする。復習として授業範囲の本を再度読み込み配布プリントを確認
		各コマにおける授業予定	まとめ、小テスト		